

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	中村絃子デビュー50周年記念リサイタル			
目的・内容	国内の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供を目的に実施。日本のピアニストの代名詞となっている中村絃子のリサイタルを開催することで、県内ピアニストのスキルアップと、その名をよく知っている50～70代の男性鑑賞者の拡大につなげる。			
開催日時	平成22年6月2日(水) 開演18:30			
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール			
入場料 (友の会・団体)	S席 4,500円 (4,000円)	A席 3,500円 (3,000円)	高校生以下 1,500円	
集客状況	入場者数 1,083名	設定席数 1,248席	集客率 87%	
事業費状況	予算額	収入 3,790,000円	支出 3,664,000円	収支比率 103%
	決算額	収入 4,035,650円	支出 3,263,645円	収支比率 124%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 364名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の頃に文化ホールで聞いて以来、約20年ぶりの生演奏でした。とてもダイナミックで迫力のある演奏に、感動しました。</li> <li>・子どもが大変感動していました。私も涙が出ました。やはり生で演奏を聴ける事は素晴らしい。</li> <li>・一流のピアニストの素晴らしさに圧倒されました。</li> <li>・これ以上ない最高のコンサートだった。さすがです。迫力があり、指が魔術師となって鍵盤の上を踊りまくっているようで、みとれてしまいました。</li> <li>・鳥取県ではなかなか生で本格的な演奏を聴ける機会がないので、米子からかけつけました。本当に素晴らしい演奏でした。ピアノを習っている子ども達にもきっと心に残る時間となったと思います。</li> </ul>			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標入場者数(960名)を約120名上回るとともに、収支差額も約80万円の黒字とすることができた。</li> <li>・10代未満～70歳以上と幅広い年齢層の方々にご鑑賞いただき、文化人口の拡大に繋げることができた。</li> <li>・広報、販促における新しい取り組み(4名以上割引、市内ポスティング等)を行い、新規鑑賞者開発に努めた。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の来場者が19%と少なく、男性鑑賞者獲得の方策を考える必要がある。</li> <li>・鑑賞マナーの悪さを指摘する声が多かった。</li> <li>・全般的に岩美町、智頭町、若桜町からの入場者が少ない。</li> </ul>			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな手立てを打って、集客につなげている。</li> <li>・若年層から高齢者まで幅広い年代層を動かすことができた。</li> <li>・チケットの割引サービスや高校生以下の鑑賞者への配慮等今後も継続することにより、より広い鑑賞者の獲得にもつながると思う。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる鑑賞者層をターゲットにすることにより推進方法が異なってくるので集客の方策を検討しなければならない。</li> <li>・出演者の事前リサーチが必要である。</li> <li>・アンケートをしたくなるような手立てを考えていく必要がある。</li> </ul>			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性鑑賞者が求めているものをリサーチし、事業選定等に活かす。→来年度の事業選定の際に、男性の多い職場にアンケートを行った。</li> <li>・公演パンフレットにマナーガイドを添える、係員の声掛け、場内アナウンス等を引き続き行う。→継続実施中</li> <li>・入場者の少ない地域への周知の仕方を改めて検討する。</li> <li>・異なる鑑賞者層への推進方法及びアンケートについては、企画制作部内において検討する。</li> <li>・出演者の事前リサーチについては、事業選定の際に、多くの情報を得るようにするとともに、可能なものは鑑賞するように努める。→実施中</li> </ul>			